

令和2年度進捗評価シート

伊豆の国市歴史的風致維持向上計画(平成30年7月11日認定)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の推進体制	1
-----------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 伊豆の国市景観形成基本計画等との連携	2
2 「伊豆の国市景観形成基本計画」、「伊豆の国市屋外広告物条例」に基づく屋外広告物の適正な維持管理	3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 江川文庫収蔵施設建設事業	4
2 江川邸周辺の歴史的風致形成建造物保全事業	5
3 史跡韭山反射炉保存修理事業・史跡韭山反射炉整備事業	6
4 無形民俗文化財記録作成事業	7
5 地域に根付いている祭事に対する運営支援事業	8
6 (重文)韭山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理等事業	9
7 史跡韭山役所跡保存活用計画策定事業	10
8 史跡北条氏邸跡(円城寺跡)保存整備事業	11
9 史跡公園整備事業「守山中世史群」PFI事業	12
10 韭山城跡総合調査事業	13
11 江川邸と韭山反射炉を結ぶ道路の美装化事業	14
12 重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業	15
13 長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業	16
14 民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり・賑わいづくり創出事業	17
15 公共サイン整備事業	18
16 市内民俗芸能・祭典等実施事業	19
17 市民組織の活動費補助事業	20

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	21
2 文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組	22
3 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業	23

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 歴史や伝統文化を生かしたまちづくりに向けて	24
-------------------------	----

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1 住民意識の向上	25
2 文化財の保存及び活用のに向けた普及・啓発の必要性	26

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	27
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和2年度								
現在の状況		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手									
計画の推進体制											
計画に記載している内容	本計画の推進、実施にあたっては、計画策定時同様に都市計画課・文化財課が事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。計画の推進や事業の実施に際しては、国や静岡県等の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で											
計画認定後の事業推進に係る評価機関として設置した、伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会から引き続き意見聴取を行う。内部体制としては、協議会事務局である都市計画課と文化財課の連携を強化し、事業の担当部署である建設課や観光課との庁内協議を必要に応じて行った。											
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)									
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない											
状況を示す写真や資料等											
庁内会議の体制 事務局：都市計画課、文化財課 <コアメンバー> 観光課（観光振興部局） 建設課（都市整備部局） 文化財課（教育部局） 都市計画課（計画推進部局）		庁内会議の開催 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2..6.30(火) 事務局会議</td> <td> ・R2年度事業進捗評価の確認 ・R2年度スケジュールの確認 </td> </tr> <tr> <td>R3..1.6(水) 事務局会議</td> <td> ・計画書 軽微な変更内容の確認 ・事業進捗評価シート内容の確認 ・協議会日程と議事内容の確認 </td> </tr> <tr> <td>R3..2.26(水) 事務局会議</td> <td> ・計画書 軽微な変更内容の最終確認 ・事業進捗評価シート内容の最終確認 ・議事内容の最終確認 </td> </tr> </tbody> </table>		開催日	検討内容	R2..6.30(火) 事務局会議	・R2年度事業進捗評価の確認 ・R2年度スケジュールの確認	R3..1.6(水) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の確認 ・事業進捗評価シート内容の確認 ・協議会日程と議事内容の確認	R3..2.26(水) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の最終確認 ・事業進捗評価シート内容の最終確認 ・議事内容の最終確認
開催日	検討内容										
R2..6.30(火) 事務局会議	・R2年度事業進捗評価の確認 ・R2年度スケジュールの確認										
R3..1.6(水) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の確認 ・事業進捗評価シート内容の確認 ・協議会日程と議事内容の確認										
R3..2.26(水) 事務局会議	・計画書 軽微な変更内容の最終確認 ・事業進捗評価シート内容の最終確認 ・議事内容の最終確認										
協議会の開催 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>検討内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3..3.18(木)</td> <td> ・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ・R2年度の事業進捗・評価について ・意見聴取 </td> </tr> </tbody> </table>		開催日	検討内容	R3..3.18(木)	・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ・R2年度の事業進捗・評価について ・意見聴取	 事務局打合せ					
開催日	検討内容										
R3..3.18(木)	・歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について ・R2年度の事業進捗・評価について ・意見聴取										
		第3回伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会									

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
伊豆の国市景観形成基本計画等との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

本市の景観計画は、豊かな自然と、人びとの生業と生活によって培われた歴史や文化によって形づくられ、現在に至るまで伝えられてきた固有の資源を市民共有の財産として捉え、今後のまちづくりに活かし、伊豆の国市独自の景観形成を進めることを目的として、市域全体を対象とした方針を位置づけている。計画に位置づけている景観重点整備地区については、歴史的風致維持向上計画に位置づけた重点区域内に入れ込んでおり、既設の歴史文化資源と調和するよう景観の向上を目指している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

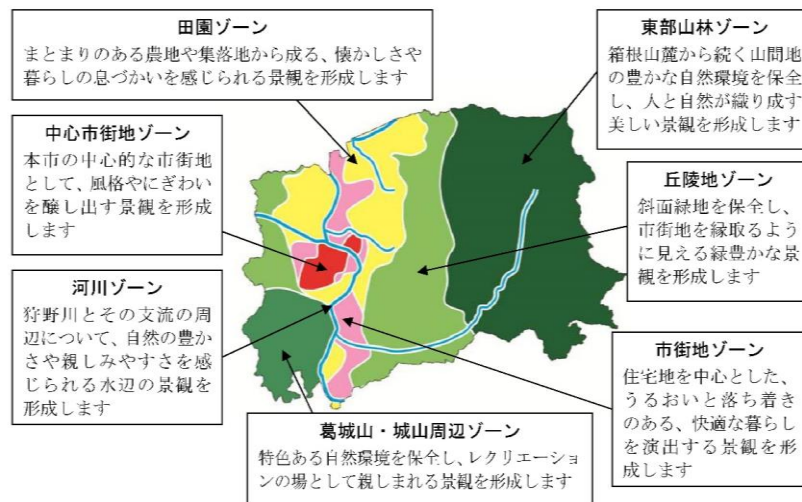
伊豆の国市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、届出対象行為に該当する全ての建築・工作物について、行為の制限を設けた。また、制定した屋外広告物条例では、特別規制地域や普通規制地域を設けて、広告物や掲出物件の設置に関する基準を明確化し、事業者に対し色彩基準等の啓発を行って屋外広告物指導事業を推進している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

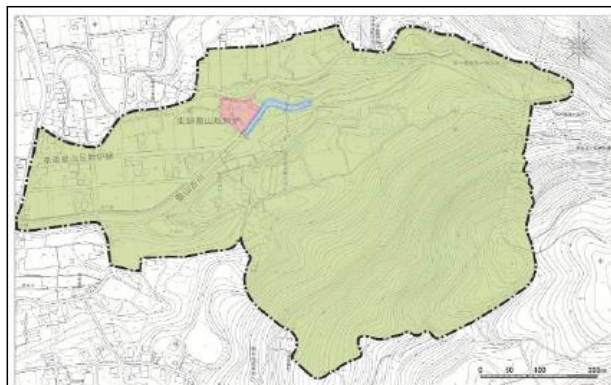
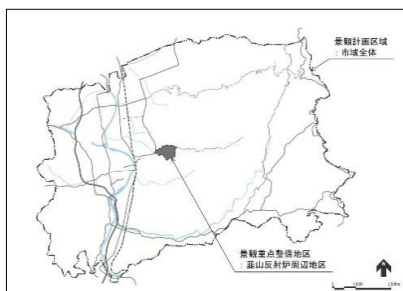
状況を示す写真や資料等

土地利用基本方針

自然、歴史、文化、街並み等の多様な景観要素が市域全体に広がっていることから、良好な景観形成に関する取組みは市域全体で総合的かつ計画的に進めていく必要がある。このため、景観計画では「市域全体」を景観計画区域として設定している。



景観計画に規定した景観重点整備地区の範囲



世界遺産登録を受けた韮山反射炉周辺も含めた範囲を指定した

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
「伊豆の国市景観形成基本計画」、「伊豆の国市屋外広告物条例」に基づく屋外広告物の適正な維持管理		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容

歴史まちづくり法に規定する重点区域として設定した「葦山反射炉・江川邸とその周辺地区」は、江戸時代の葦山代官所をはじめ長年にわたって、まちの拠点として機能してきた地区である。史跡葦山反射炉周辺は、「伊豆の国市景観形成基本計画」において、景観重点整備地区に指定されている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

策定した景観計画では、葦山反射炉周辺地区を「景観重点整備地区」(特に先導的かつ重点的に景観形成を図る必要があると認める区域)として位置付けている。このため、葦山反射炉等と調和する街並み景観を創出を目的に、周辺の建築物・工作物の高さや形態、色彩等を誘導するとともに、屋外広告物の削減に努め、形態や意匠について誘導した。また、計画に位置付けた歴史的風致のエリア内の屋外広告物についても、適正な維持管理が行われるよう継続的に誘導を促した。

●屋外広告物の改善状況: 景観重点整備地区をはじめ、その周辺区域も含めて自家広告物19件、野立て看板9件の合計28件が改善された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

誘導実績事例

誘導前



誘導後



景観重点整備地区内の葦山反射炉に通じる道路沿いに位置する建物外壁に表記された広告物の是正を求める誘導を行った。

誘導前



誘導後



北条の里と旧下田街道にみる歴史的風致エリアに位置する事業店舗自家広告物の色彩について、是正を求める誘導を行った。

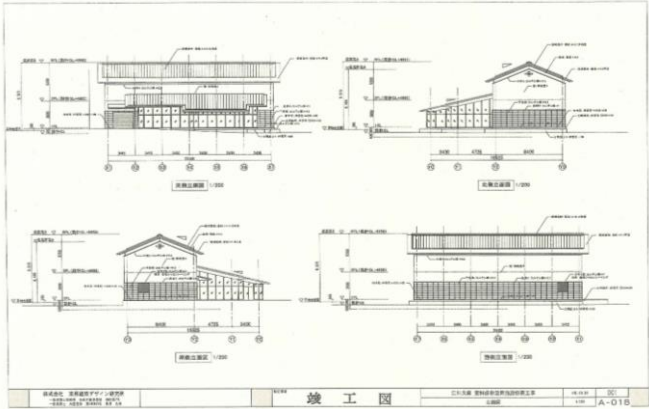
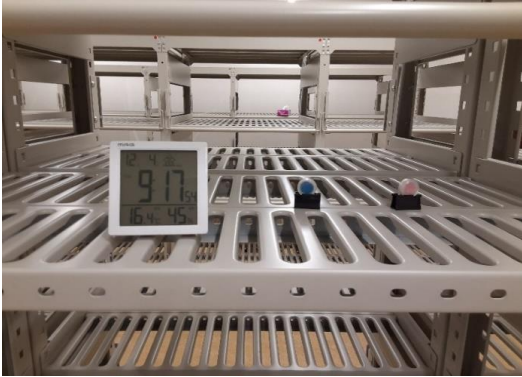
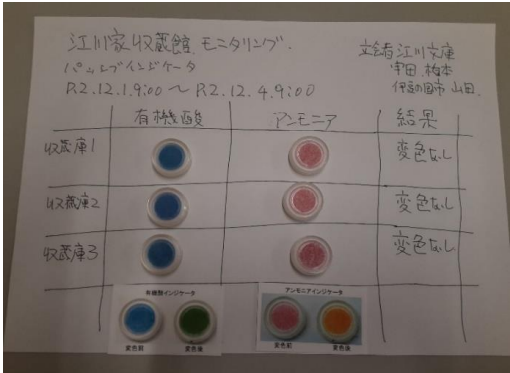
誘導前

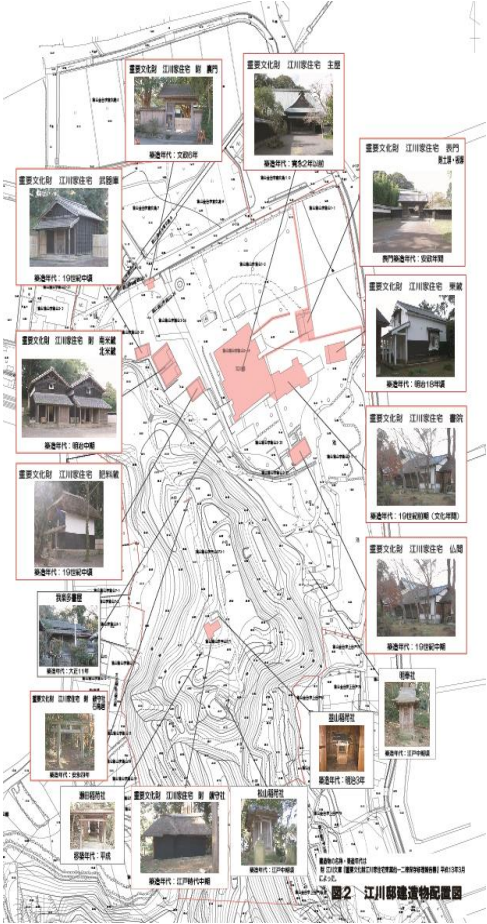


誘導後



葦山・大仁地域の神社の祭礼と三番叟にみる歴史的風致エリアに位置する事業店舗自家広告物の色彩について、是正を求める誘導を行った。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
江川文庫収蔵施設建設事業		■実施済 □実施中 □未着手	
事業期間	平成30年度～令和元年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(重要文化財等(美術工芸品・民俗文化財)保存活用整備事業) 静岡県文化財保存費補助金		
計画に記載している内容	公益財団法人江川文庫が所蔵する重要文化財葦山代官江川家関係資料・重要文化財江川家関係写真(合計約39,000点余)を適切に保存管理するための収蔵施設を建設する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
江川文庫収蔵施設は令和元年9月竣工、令和2年10月に環境自主検査を行い収蔵に適切な環境であることが確認された。伊豆の国市は文化財の保存環境整備のための空調設備や虫菌害対策の打ち合わせを通じて、江川家資料等の保存管理体制の向上に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
施設概要図  収蔵庫の仕様 建設地:静岡県伊豆の国市葦山葦山2番地4 構造:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造2階建 建築面積:304.38㎡ 延べ床面積:464.19㎡			
 環境自主検査の様子  環境自主検査の結果			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度 令和2年度	
項目 現在の状況	
江川邸周辺の歴史的風致形成建造物保全事業	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重点区域である江川邸周辺地区内に点在している歴史的風致形成建造物(葦山稲荷、松山稲荷、瀬田稲荷、明奉社、星の宮)について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
歴史的風致形成建造物の候補を把握するため下記の調査を実施した。 ・平成29年9月20日、対象建造物の予備調査 ・令和元年12月6日、対象建造物の確認調査 ・令和2年度 指定に向けた体制整備について課内で検討	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	建造物調査を実施したが、建造物の価値では、歴史的風致形成建造物の指定基準を満たすものではなかったため、指定には至らなかった。そのため、江川家の民俗調査の結果を踏まえ、年中行事と密接な関係が確認できるものについて、歴史的風致形成建造物指定を検討したうえで、指定したものについては、必要に応じて補修や修理を実施する。
状況を示す写真や資料等	
令和元年12月6日歴史的風致形成建造物候補調査 調査者:伊豆の国市文化財保護審議委員 新妻淳子委員 調査対象:松山稲荷社、瀬田稲荷社、葦山稲荷社、明奉社、香山寺山門	
 建造物調査 明奉社  建造物調査 香山寺山門  図2 江川邸建造物配置図	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
史跡韮山反射炉保存修理事業・史跡韮山反射炉整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業【史跡韮山反射炉保存修理】) 文化財保存事業費関係補助金(埋蔵文化財緊急調査事業【史跡韮山反射炉】) 静岡県文化財保存費補助金 観光地域づくり整備事業費補助金

計画に記載している内容	煉瓦部分の劣化が進行している韮山反射炉本体について、保存修理工事を実施する。史跡内に所在した製砲工場としての遺構について発掘調査を行い、成果に基づいて史跡整備を実施する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

『韮山反射炉保存・整備・活用に関する計画』に基づき下記の事業を実施した。

保存修理事業

平成30年度 韮山反射炉保存修理基本設計の策定、令和元年度 韮山反射炉保存修理実施設計策定

令和2～3年 保存修理工事

発掘調査事業

令和2年に発掘調査を実施した。また、その成果は、発掘調査現地説明会を実施して市民等に公表した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針 (自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	『韮山反射炉保存・整備・活用に関する計画』に基づき実施する。

状況を示す写真や資料等



韮山反射炉発掘調査現地説明会



韮山反射炉 保存修理工事

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
無形民俗文化財記録作成事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	令和元年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市内の祭礼や伝統行事について調査を行うとともに、記録を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下記事業を実施したことで、市内の民俗文化財の継承に寄与した。
 ・江川家の年中行事調査(令和元～2年度)、市内民俗調査(令和2～5年度)を計画
 ・令和元年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、江川家の年中行事の現地調査を10回実施
 ・令和2年度、民俗学の専門家を調査員に委嘱し、江川家の年中行事の現地調査を1回実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和2年度に江川家の年中行事調査が完了したため、令和3年度に調査報告書を刊行する。市内民俗調査は、コロナウィルスの影響により対象となる祭礼行事が中止となるものが多いため、コロナウィルス流行の終息後に調査を実施する予定である。

状況を示す写真や資料等

調査日	行事名	調査内容
平成31年4月8日	稲荷社祭典	葦山稲荷、瀬田稲荷の初午祭典の調査
平成31年4月15日	松山社、明奉社祭典	松山社、明奉社の祭典調査
令和元年5月19日	井戸替え	江川邸内大井戸、ナカノ井戸、田宿井戸、神社の井戸の神事及び清掃について調査
令和元年8月	盆行事	江川家の盆行事及び準備の調査
令和元年9月12日	五難のおはぎ	日蓮宗関係行事の調査
令和元年9月20日	秋の彼岸	彼岸行事の調査
令和元年10月13日	御嶽神社祭典	江川家に関連の深い神社の祭礼調査
令和元年10月14日	本立寺万灯会	日蓮宗関係行事の調査
令和元年11月8日～13日	お会式	日蓮宗関係行事の調査
令和2年1月	正月行事	令和元年12月から準備作業から令和2年1月14日までの具足開きまでの一連行事調査
令和2年10月	金谷地区年中行事	金谷地区の年中行事と江川家年中行事の関連についての金谷地区住民への聞き取り調査



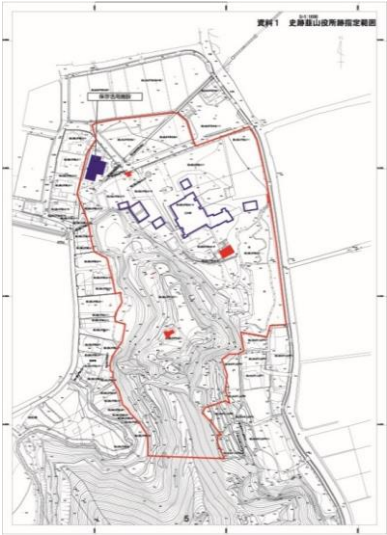
金谷地区住民への聞き取り調査

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度 令和2年度	
項目 現在の状況	
地域に根付いている祭事に対する運営支援事業	
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	伊豆の国市で培われてきた祭事を維持し、継承していくため、開催支援を始め担い手の確保や育成を目的に必要な支援を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
パンフレット「三番叟ガイド」を発行しPRを行ったことで、広く周知に寄与した。 なお、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、三番叟の奉納は中止し、衣装、備品などの展示等が行われた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	支援を受けられる祭礼の定義について検討を行う必要がある。
状況を示す写真や資料等	
 大仁 大仁神社 三番叟出演者  新調した三番叟の衣装などを展示した三幡公民館 ＝伊豆の国市三幡  三幡の中止は、狩野川台開港した1980(昭和55)年以來、衣装は黒詰着るきじょう千代巻なんじの上着、踊り金をつた、公民館でたまり地蔵の最良の地、域の祭務事、神事で、は、来年、コロナが終息したと話し、有難組合の寄付、年に持ち越しになった。 伊豆の日新聞 令和2年10月13日  伊豆の国市 三番叟ガイド 伊豆の日新聞 令和2年10月13日	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
(重文) 葦山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和5年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(国宝・重要文化財美術工芸品保存修理抜本強化事業) 文化資源活用事業費補助金(美術工芸品美観向上整備事業) 静岡県文化財保存費補助金		
計画に記載している内容	重要文化財に指定されている「葦山代官江川家関係資料」の書画・古文書・典籍等を適切に保存・活用するため、保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
江川家資料の保存・活用のために下記事業を実施したことで、文化財の価値の維持に寄与した。 令和2年度 葦山代官江川家関係資料 保存修理事業 14点 美装化事業700点 伊豆の国市は上記の事業について、国県補助事業の事業指導を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		対象資料の選択及び年次計画及び公開活用について、所有者と協議を行い継続的な実施につなげていく。	
状況を示す写真や資料等			
			
美術工芸品保存修理事業の確認作業			
			
美装化事業の作業立会			

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項																							
評価対象年度 令和2年度																							
項目																							
史跡韮山役所跡保存活用計画策定事業																							
現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																							
事業期間	平成30年度～令和5年度																						
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(史跡等保存活用計画策定事業) 静岡県文化財保存費補助金																						
計画に記載している内容	重要文化財江川家住宅を含む史跡韮山役所跡について、適切な保存と維持管理及び活用の方針・手法・現状変更の取扱基準等を定める。																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																							
計画策定への着手準備として、所有者である江川家及び(公財)江川文庫と史跡、建造物、美術工芸品に関する打合せを実施し、現状や課題等を確認した。打ち合わせ回数11回。																							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																						
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史跡韮山役所跡には史跡のほかに建造物、美術工芸品が所在しており、美術工芸品の保存活用施設への移転、建造物の保存修理事業など計画している事業相互の調整の課題がある。これら事業計画を所有者と協議し、史跡の保存活用計画の策定を行うこととする。																						
状況を示す写真や資料等																							
 協議範囲: 史跡韮山役所跡 <table><tr><td>4月17日</td><td>市、江川家所有文化財(美術工芸品)現況調査</td></tr><tr><td>6月9日</td><td>現況調査を踏まえた保存環境に関する協議</td></tr><tr><td>7月6日</td><td>文化庁、静岡県を交えた保存環境に関する現地指導</td></tr><tr><td>7月15日</td><td>建造物の保存修理に関する打ち合わせ</td></tr><tr><td>8月6日</td><td>建造物の保存修理に関する打ち合わせ</td></tr><tr><td>8月30日</td><td>市、建造物現況調査</td></tr><tr><td>9月10日</td><td>文化財保存に関する打ち合わせ</td></tr><tr><td>9月16日</td><td>美術工芸品の修理計画に関する打ち合わせ</td></tr><tr><td>10月6日</td><td>美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ</td></tr><tr><td>12月15日</td><td>美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ</td></tr><tr><td>1月15日</td><td>美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ</td></tr></table>		4月17日	市、江川家所有文化財(美術工芸品)現況調査	6月9日	現況調査を踏まえた保存環境に関する協議	7月6日	文化庁、静岡県を交えた保存環境に関する現地指導	7月15日	建造物の保存修理に関する打ち合わせ	8月6日	建造物の保存修理に関する打ち合わせ	8月30日	市、建造物現況調査	9月10日	文化財保存に関する打ち合わせ	9月16日	美術工芸品の修理計画に関する打ち合わせ	10月6日	美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ	12月15日	美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ	1月15日	美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ
4月17日	市、江川家所有文化財(美術工芸品)現況調査																						
6月9日	現況調査を踏まえた保存環境に関する協議																						
7月6日	文化庁、静岡県を交えた保存環境に関する現地指導																						
7月15日	建造物の保存修理に関する打ち合わせ																						
8月6日	建造物の保存修理に関する打ち合わせ																						
8月30日	市、建造物現況調査																						
9月10日	文化財保存に関する打ち合わせ																						
9月16日	美術工芸品の修理計画に関する打ち合わせ																						
10月6日	美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ																						
12月15日	美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ																						
1月15日	美術工芸品の移転計画に関する打ち合わせ																						

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

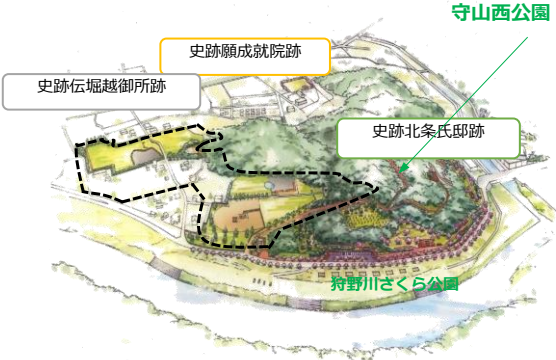
項目		評価対象年度	令和2年度						
		現在の状況							
史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手							
事業期間	平成30年度～令和7年度								
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業) 文化財保存事業費関係補助金(埋蔵文化財緊急調査事業) 静岡県文化財保存費補助金								
計画に記載している内容	史跡内における北条氏邸及び円成寺に関わる遺構の復原・遺構表示などの整備を行い、史跡が持つ歴史的価値を体感できる空間を整備する。合わせて、守山中世史跡群として把握され、隣接して存在する伝堀越御所跡、願成就院跡の保存・整備についても進める。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
史跡北条氏邸跡(円成寺跡)の適切な保存・活用のため下記の事業を実施した。 ・令和元年9月「史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡保存活用計画」策定 ・令和2年度「史跡北条氏邸跡整備基本計画策定」									
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)							
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・R2までは計画通り進捗しているが、R3以降は、コロナウィルスの影響による税収減、市財政状況により整備事業の延期の可能性がある。(R3年度は整備事業を見送っている。)							
状況を示す写真や資料等									
守山中世史跡群整備年次計画									
	前期基本計画期間							後期基本計画期間	
	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)～
北条氏邸跡 (円成寺跡)	1期	基本計画	基本設計	実施設計→ 基盤整備工事	実施設計→ 円成寺跡遺構 展示エリア整備 工事			供用開始	活用事業→
					実施設計→ 北条氏邸跡遺構 展示エリア 整備工事		サイン整備 工事		
	2期		発掘調査	発掘調査	発掘調査	発掘調査	発掘調査 報告書	後期 基本 計画 策定	後期整備期間→



守山中世史跡群整備部会の開催

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
史跡公園整備事業「守山中世史群」PFI事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和4年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	守山中世史跡群では、歴史・文化を活かしたまちづくりが期待されていることから、計画に位置付ける歴史的風致の一つとして今後の維持及び活用が求められる区域である。史跡及び周辺地域での整備・活用について、PFI事業の可能性を検討し、その結果を踏まえて史跡公園を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市では、平成28年度に歴史的価値のある文化資源を官と民がパートナーを組んだ事業展開の可能性調査を行った。調査対象の状況では現時点で相応の収益可能な施設がないことから、コンセッション方式による事業化は困難であり、コスト削減効果のあるPFI-BTO方式の導入可能性があるとの結果に至った。その後、対象地域である史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存活用計画を令和元年度に策定した。また、史跡北条氏邸跡(円成寺跡)整備基本計画を令和2年度に策定した。今後、基本設計を作成する際に、PFI事業の導入可能性について改めて検討する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存活用計画の方針を踏まえ、今後、PFI事業の導入に関する収益施設の設置条件等の課題整理を行い、調整協議する。		
状況を示す写真や資料等			
平成28年度～平成29年度 歴史・文化資源活用手法調査事業民間資金等活用可能性調査の実施 ～歴史的文化的資源の保護から活用へ～ 官民連携による事業展開の模索 ↓ 平成30年度～令和元年度 史跡願成就院跡・史跡伝堀越御所跡・史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存活用計画の策定 ～活用方針の位置づけ～ 具体的な整備の方向性の整理 ↓ 令和2年度 「史跡北条氏邸跡整備基本計画策定」  守山西公園 史跡願成就院跡 史跡伝堀越御所跡 史跡北条氏邸跡 狩野川さくら公園 守山西公園展望台   遊歩道の改修整備			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
葦山城跡総合調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	文化財保存事業費関係補助金(埋蔵文化財緊急調査事業) 静岡県文化財保存費補助金		
計画に記載している内容	現在未指定である葦山城跡の国史跡指定を目指し、その本質的価値を明らかにするため、総合調査(発掘調査、文献調査、地形測量、縄張調査、古道調査)を実施する。調査については伊豆の国市史跡等整備調査委員会葦山城整備部会委員の指導を受けて実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
葦山城跡の保存活用のため下記の事業を実施した。 ・発掘調査 令和元年度 本城二ノ丸1箇所、令和2年度 追越山付城跡確認調査 1箇所 ・文献調査 令和元年度伊豆の国市内2箇所、令和2年度 伊豆の国市内1箇所 ・地形調査 平成30年度 付城跡測量調査 1.07km ² ・縄張調査 令和元年度 付城跡1箇所 ・葦山城部会開催 平成30年度3回、令和元年度2回、令和2年度2回			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		史跡指定や調査事業の実施にあたり、地権者との合意形成を行いながら実施する。	
状況を示す写真や資料等			
 令和2年度 追越山付城跡確認調査現地指導  令和2年度 江川家資料調査			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美装化事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手

事業期間	令和5年度～令和9年度
------	-------------

支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重要文化財江川邸と葦山反射炉を結ぶ南北の道で、道路愛称「坦庵公思索の道」と名付けられている自然豊かな歩行者道路を歴史の散歩道にふさわしい景観とするために、周辺の風景に調和した道路の美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 市では、令和元年度より、道路状況の調査、周辺景観の調査を行っている。その調査結果を元に、美装化実施手法の検討、整備項目の選定、概算事業費の算定及び事業スケジュール等の検討を図っていく。また、観光地エリア景観計画との整合を図りながら道路景観等の課題を整理し、美装化に向けた整備方法等を検討していく。令和2年度は、江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美装化に向けて、整備手法の検討の他、防護柵や案内サイン等の付帯工事の内容を確認し、概算整備費の算出を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

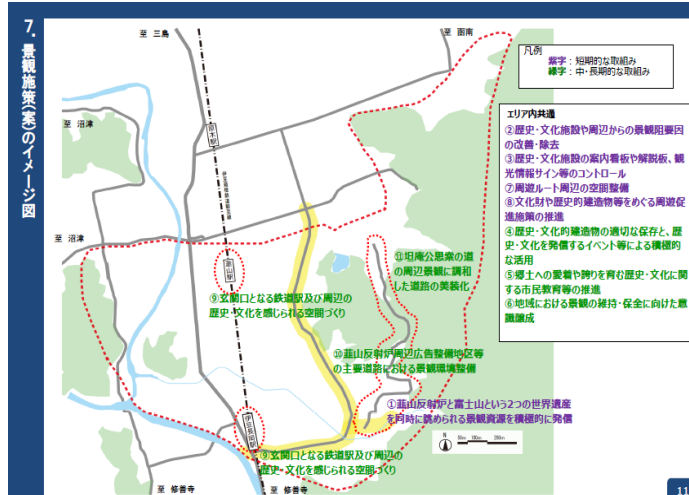
状況を示す写真や資料等



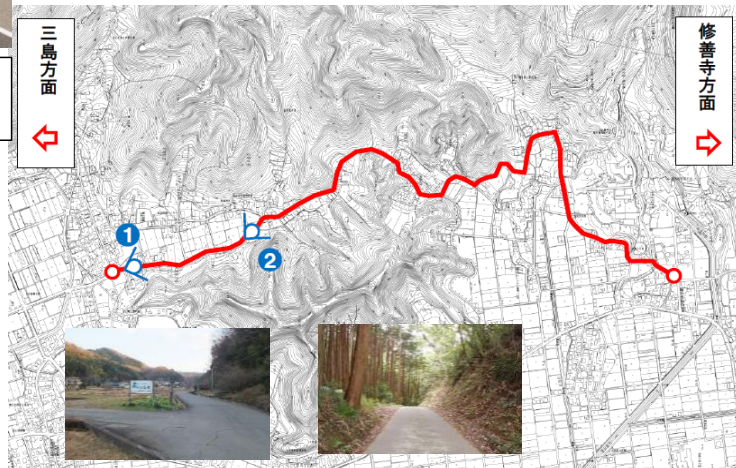
坦庵公思索の道(現状)
葦山代官江川英龍ゆかりの江川邸・葦山反射炉界隈の営みにみる歴史的風致(重点区域)



坦庵公思索の道
(道路美装化イメージ)



観光地エリア景観計画 エリア範囲図



坦庵公思索の道

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手

事業期間	令和2年度～令和5年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重要文化財江川家住宅を含む史跡葦山役所跡や葦山反射炉の北側では、富士山を望むことができることから、歴史的風致とその周辺の景観を阻害する電柱の撤去や移設を行う。

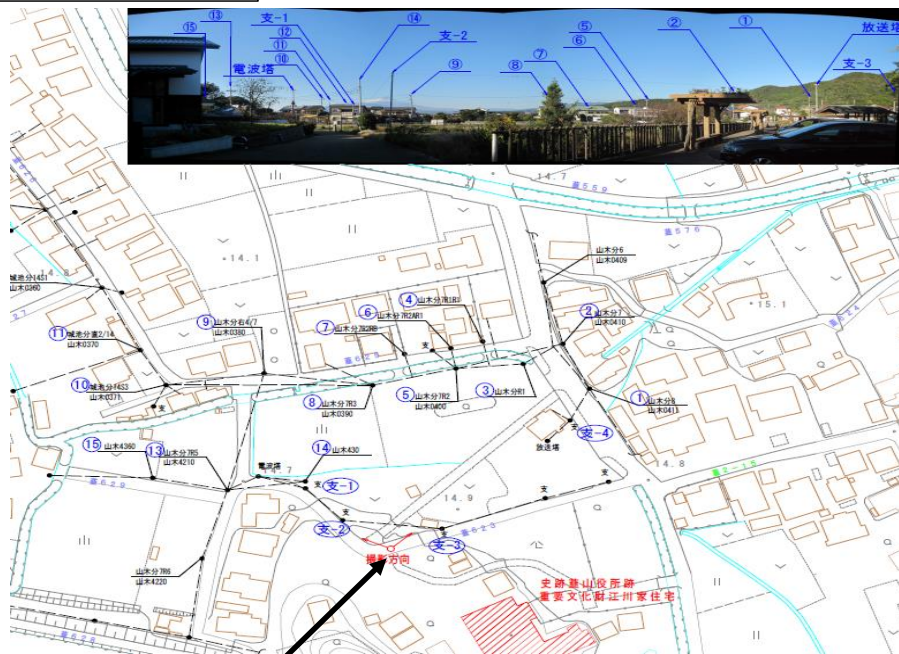
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市では、令和元年度より、電柱・電線の状況調査を行っている。その調査結果を元に、無電柱化範囲の検討、無電柱化手法比較検討、概算事業費の算定及び事業スケジュール等の検討を図っていく。また、策定した観光地エリア景観計画との整合性を図りながら景観を阻害する電柱の撤去・移設事業の推進を図る。令和2年度は、江川邸周辺部の無電柱化に向けて、景観の阻害となる電柱の現況調査を行ったほか、整備手法の検討と概算整備費の算出を行った。

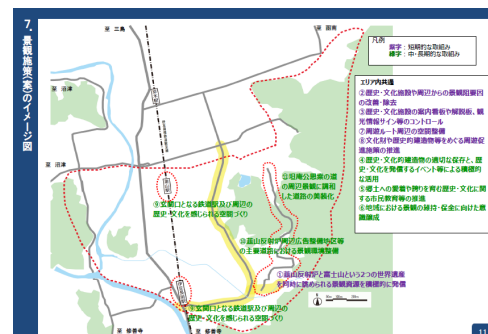
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

江川邸北側の電柱等の現況



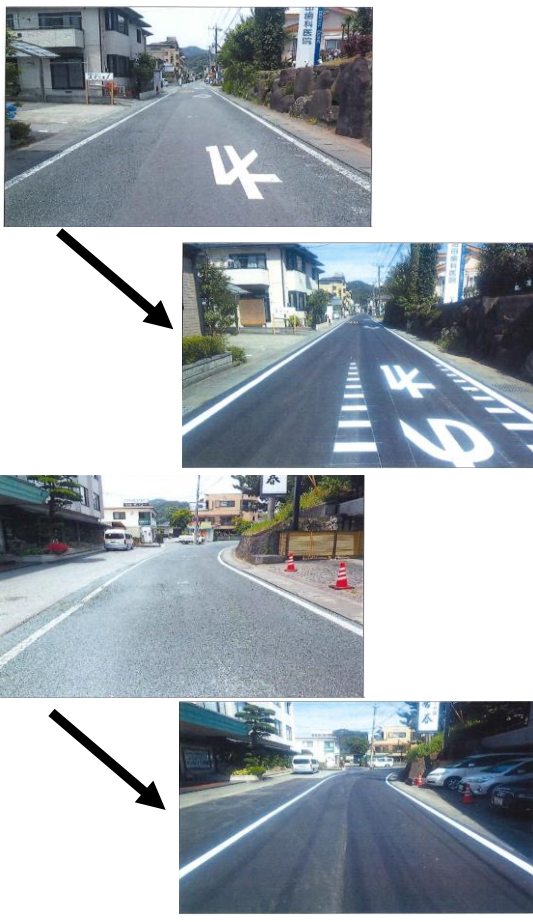
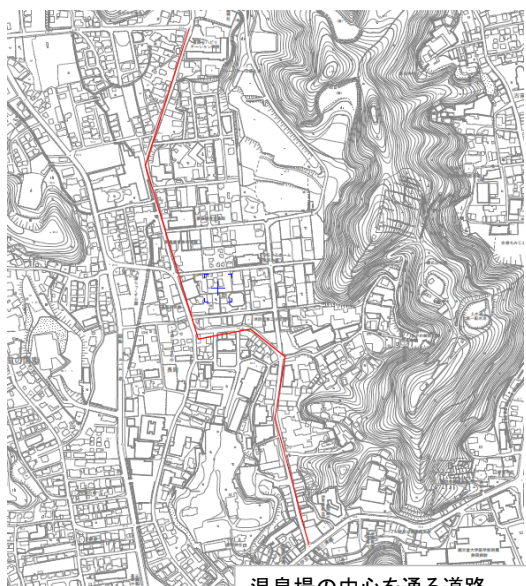
周辺の景観形成
(江川邸裏門)
葦山代官江川英
龍ゆかりの江川
邸・葦山反射炉
界隈の営みにみ
る歴史的風致
(重点区域)



観光地エリア景観計画 エリア範囲図

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和5年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	道路愛称事業で、「温泉場出逢い通り」と名付けられている長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市では、平成28年度より、市道長215号線(温泉場出逢い通り)の舗装工事を継続的に実施している。今年度は、未改修となっていた長岡リハビリテーション病院までのL=460mの舗装工事を実施し、道路の美装化を図った。また、道路の美装化に関連して、順大病院前から市役所方面の県道の歩道幅が狭いため、歩道拡幅整備を県に要請した。なお、観光地エリア景観計画で位置づけた道路景観等の整備方針に基づき温泉街に相応しい美装化に向けた整備方法等も検討していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 温泉場の中心を通る道路 L=460m舗装工事の実施状況  温泉場の中心を通る道路  温泉場出逢い通り 伊豆長岡温泉にみる歴史的風致			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり・賑わいづくり創出事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 他
計画に記載している内容	歴史ある温泉街の風景として維持し、活用につなげることやアイデンティティの維持形成を図ることを目的に、温泉街の活性化に向けた建造物の保存等を推進する。

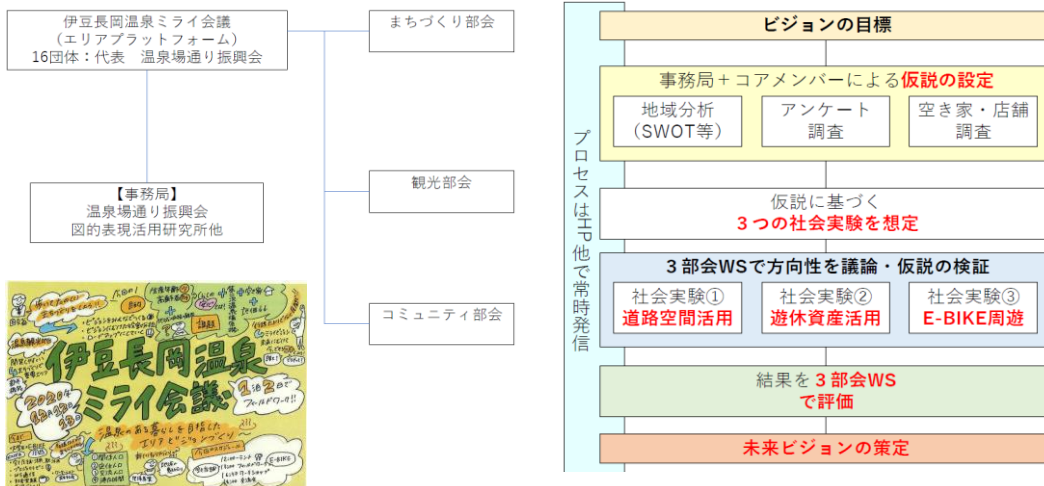
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伊豆長岡温泉では、平成27年度から温泉場の賑わいづくりを目的として、休館している旅館南山荘の建物を利用して「温泉場お散歩市」を毎月1回継続的に開催している。温泉場お散歩市では、地域の農産物や農産加工品、ハンドメイド雑貨や飲食屋台等40店舗以上がならび、伊豆長岡温泉の活性化に寄与している。令和2年8月、温泉場通りの再生を目指し、民間が主体となり、地域や行政と連携したエリアプラットフォーム「伊豆長岡温泉ミライ会議」が立ち上がり、温泉場お散歩市とも連携し、ワークショップの開催や社会実験等を行い、温泉場通りの休止・閉鎖店舗の活用や温泉場通りの再生に関する具体的取組をスタートさせた。

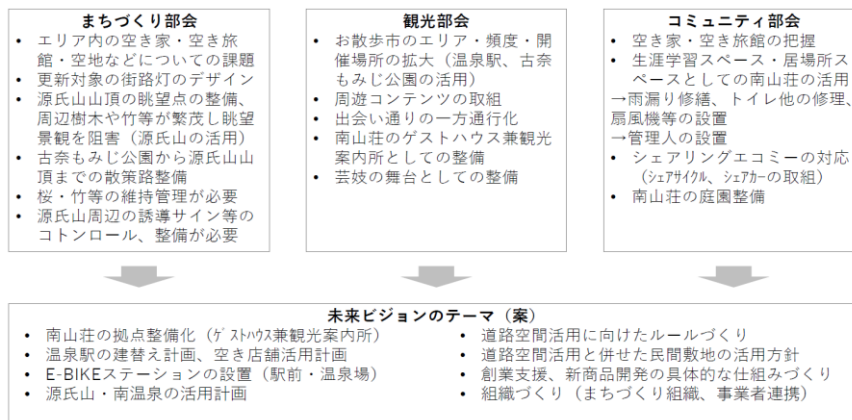
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	温泉街の活性化に向けて取組みを支えてきた宿泊施設関係者の高齢化もあって、地域コミュニティ活動への参加度が低くなっている。地元関係者とエリア外のプレーヤーとの関係づくりも含め、外部有識者の助言も参考にして、それぞれが連携したまちづくりが必要である。

状況を示す写真や資料等

○ 伊豆長岡温泉ミライ会議の体制(令和2年度) ○ 伊豆長岡温泉活性化に向けた未来ビジョン検討の進め方



○ 伊豆長岡温泉ミライ会議における部会の設定と検討課題



(各出典:伊豆長岡温泉ミライ会議資料)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
公共サイン整備事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	来訪者の円滑な移動を支援するため、公共サインの統一性の確保を目的に、景観への配慮、利用者の視点及び国際化に対応した道路案内サイン等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度に策定した伊豆の国市観光地エリア景観計画では、わかりやすい誘導案内、景観と調和した統一的なデザインの公共サインの必要性を示し、市内観光地等の著名地点誘導標識の改修については、静岡県が定める「しずおか公共サイン整備ガイドライン」に基づくユニバーサルデザインに対応した整備等を進めていく。市内の観光施設等に設置されている観光案内板については、周囲の景観と調和するデザインかつ多言語表記も含めた統一したデザインとし、多量の情報を板面に記載するのではなく、QRコード等の活用によりデジタルツールと組み合わせた板面整備を検討していく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	観光地エリア景観計画においても、わかりやすく景観に配慮した公共サイン等のコントロールを位置付け、観光関連サインだけでなく、全体的な公共サインの見直し等が必要である。

状況を示す写真や資料等



今後、板面改修を実施する予定の誘導標識の例



今後、板面改修を実施する予定の誘導標識の例



(参考) 県ガイドラインに基づく整備を実施した誘導標識
 ※著名地点の名称の英語表記を統一し、JIS規格のピクトグラムを入れ、「もてなししずおか“茶”方式」の対象となる誘導標識は、茶色標識に変更



(参考) 市内観光施設等に設置されている観光案内板

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
市市民俗芸能・祭典等実施事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市の魅力や観光・歴史資源を生かした民俗芸能や祭典等を開催することによって誘客や歴史的資源及び伝統文化の継承を促し、観光交流客、宿泊客を増加させ、地域経済の活性化及び地域活力の向上を図ることを目的に伊豆の国市観光協会が行う次の事業へ補助する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伊豆の国市観光協会実施関係

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大の影響を受けて、伊豆の国市観光協会が関わる各種イベントや伝統行事等は規模縮小や中止等を余儀なくされた。また、狩野川台風による水難者の慰霊のために開催する葦山狩野川まつりは、イベント自体を中止とし、慰霊祭の開催と小規模な慰霊の花火を打ち上げるにとどまった。集客イベントの開催が困難な状況の中、伊豆の国市観光協会が中心となり、三密を回避した新しい花火大会「ドドオオン伊豆の国」を2回開催した。(8月・9月)
観光地エリア景観計画関係 計画方針として、歴史・文化資源の見える化とネットワークづくりが位置づけられており、歴史・文化資源を活用した市内周遊の推進に対して支援していく。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

ウイズコロナ 新しい花火様式の実践



景観目標と景観づくり方針
 (観光地エリア景観計画(温泉景観エリア))

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
市民組織の活動費補助事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「韮山反射炉を愛する会」は、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である韮山反射炉の遺産価値や江川坦庵公を愛する人が集い、ともに学びその輪を広げることを目的とした会であり、その活動費を市が補助する。また、韮山反射炉の普及啓発・広報活動を市と協力して実施している「伊豆の国歴史ガイドの会」等の市民組織を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市民組織活動支援のため下記の事業を実施。 ・補助事業 補助金1団体(韮山反射炉を愛する会) ・支援事業 活動支援2団体(伊豆の国歴史ガイドの会、外国語ガイドの会)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		ガイド団体は、既存会員の資質向上、新規会員の加入に課題があり、その部分で支援を行う。	
状況を示す写真や資料等			
●補助事業			
団体名		活動内容	
韮山反射炉を愛する会		韮山反射炉ポロシャツ・教材の作成・販売、俳句と短歌募集・表彰、韮山反射炉清掃活動。	
●支援事業			
団体名		支援内容	
伊豆の国歴史ガイドの会		市内歴史ガイドに対する支援。市内文化財関係講習会の開催、市職員が定例会へ出席し文化財の情報周知を行う。 市広報にて会員募集記事掲載	
外国語ガイドの会		韮山反射炉ガイドに対する支援。市広報にて会員募集記事掲載。	
			
韮山反射炉を愛する会 ポロシャツ販売チラシ		外国語ガイドの会 ガイドの様子	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財は指定・登録の有無を問わず、本市の歴史と文化を理解する上で必要不可欠なものであるため、必要な調査を行い、価値が認められたものについては市指定や国の登録制度の活用を検討することで適切な保護を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
未指定の文化財の把握と、指定文化財の適切な管理のために下記の事業を行った。 ●文化財調査 令和2年度 (重文)江川家資料葦山城関係文書調査。多田大塚古墳群出土遺物調査、既指定文化財の見直し。 ●文化財指定 市指定文化財 大塚4号墳出土遺物、大塚6号墳出土遺物 新規指定2件 ●整備基本計画の策定 「史跡北条氏邸跡整備基本計画」策定			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
市指定文化財 大塚4号墳出土遺物		市指定文化財 大塚6号墳出土遺物	

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		
項目		評価対象年度 令和2年度
文化財に関する普及・啓発の取組、防災訓練の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・文化財に対する認識を高めるためには、より多くの人びとに文化財の存在や理解を促す機会を提供する普及・啓発の取組が重要である。市内外の人々を対象とする普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、イベントの開催等により実施する。 ・防災教育や訓練は、文化財の所有者等に対して、防災に係る周知啓発と防災教育に取り組み、文化財防火デーには、各地の消防団や自主防災組織と連携して、文化財施設での通報訓練や初期消火訓練を実施する。地震対策としては、耐震診断や耐震補強工事の実施など、個別の災害ごとに必要と考えられる対策を行うことにより、き損・滅失のリスクの軽減を図る。 ・各種団体の多様な活動をさらに活性化させるため、必要な情報提供や人材育成等を積極的に支援し、地域住民が主体となるような文化財保護活動を進めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
住民の文化財への意識の向上と市内外の人々の文化財の認知のために下記の事業を実施した。 ・文化財に関する普及・啓発の取組(文化財シンポジウム1回、県内世界遺産PRイベント2回、歴史まちづくりカードの配布2,129枚:2020年12月末現在) ・防災訓練の取組(市内文化財施設における防災訓練2回) ・民間団体への助成・支援や連携・協力した取組、民間団体が実施した取組(文化財保護事業に対する補助5件、民間団体の取組2件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
●文化財に関する普及・啓発の取組		
実施内容	実施日	内容
葦山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会	令和3年2月27日	葦山反射炉に関する講演会
県内世界遺産PRイベント	令和2年9月27日 令和2年12月5日	葦山反射炉の認知度向上のため、静岡県中西部商業施設にてイベントを開催。
郷土資料館企画展	令和2年6月2日～8月	パネル展示による火起こし隊の活動紹介
発掘調査説明会	令和2年6月13日	葦山反射炉の発掘調査成果の説明会
新指定文化財の特別公開	令和2年10月24日	令和2年2月に市の指定文化財に指定された「香山寺文書」の特別公開
●防災訓練の取組		
実施主体	実施日	対象文化財
伊豆の国市及び文化財所有者	令和2年8月30日	市内所在文化財
江川家住宅	令和3年1月20日	重要文化財江川家住宅、史跡葦山役所跡
●民間団体への助成・支援や連携・協力した取組		
名称	実施日	内容
葦山反射炉を愛する会	令和2年11月15日	葦山反射炉清掃活動を実施した。
 伊豆の国市郷土資料館再開 テーマ展示でお出迎え ポイアラン 火起こし隊の活動紹介 著作者名:伊豆新聞本社 令和2年6月3日掲載  初期消火や史料搬出 文化財防火デーで訓練 著作者名:伊豆新聞本社 令和3年1月21日掲載  葦山射が周辺きれいに 著作者名:伊豆新聞本社 令和2年11月16日掲載		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災・防犯に関する事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・所有者・管理者が行う日常的な点検により、文化財建造物の損傷の早期発見に努めるとともに、必要に応じて所有者等の意識向上を目的とした適切な助言を行う。 ・文化財の周辺環境は、文化財の価値にも影響を及ぼす恐れがあるため、文化財の保存・活用を図るうえでは、文化財だけに措置を講ずるだけでなく、その周辺環境を含めて取り組むことが重要である。 ・有形文化財は、火災や地震、落雷、水害、台風等の災害により、き損や滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図る	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
●文化財の修理事業 重文韮山代官江川家関係資料保存修理事業、国宝木造阿弥陀如来坐像運慶作美装化事業、市指定熊野神社の杜保存修理事業 ●文化財の周辺環境の整備事業 史跡伝堀越御所跡内に自生した多数の竹や地下遺構に影響する恐れのある樹木を伐採した。 ●防災、防犯に関する事業 県指定文化財「紺紙金字法華経」(宗徳寺蔵)「木造阿弥陀如来坐像」(木造観音菩薩坐像)(北條寺蔵)「木造金剛力士立像」(国清寺)「飲中八仙書画」(個人蔵)「梵鐘」(本立寺蔵)の現況調査		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 木造金剛力士立像調査		
 飲中八仙書画現況調査		

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度		令和2年度																																												
項目																																														
住民の意識向上																																														
計画に記載している内容	本市の文化財は、これまで活用が十分でなかった面もあり、市内外の人びとへの普及・啓発についても十分とはいえない状況にある。このため、文化財に対する認識を高めるためには、より多くの人びとに文化財の存在や理解を促す機会を提供する普及・啓発の取組みが重要である。																																													
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																														
文化財の存在や理解を促す機会を提供するために下記の事業を実施した。 ・文化財シンポジウム ・学校教育との連携(新型コロナウイルスの影響により中止)																																														
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																													
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし																																														
状況を示す写真や資料等																																														
●伊豆の国市文化財シンポジウム参加者数と市民の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施内容</th> <th>参加人数</th> <th>市民参加割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年</td> <td>「韮山城をめぐる攻防-韮山城を守る攻めるから考える-」</td> <td>460</td> <td>38.46%</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>「武田信玄襲来!!-三国同盟崩壊と韮山城をめぐる攻防-」</td> <td>439</td> <td>37.36%</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>宗瑞打ち入り茶々丸たいへん</td> <td>350</td> <td>40.50%</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>韮山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会</td> <td>140</td> <td>59.29%</td> </tr> </tbody> </table> 文化財シンポジウムは、市の歴史の事象や文化財にスポットをあてて年1回実施している。市の歴史文化を理解してもらうため、シンポジウムを通じて市内外に情報を発信している。市民の参加割合は40%程度を維持しており、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、遠方からの参加が少なかった為、60%程度の市民参加割合となった。 ●学校教育との連携 ・毎年、市内中学校2年生全員に「韮山反射炉検定」を実施し、韮山反射炉の理解増進及び文化財愛護の精神の啓発を行った。 ・韮山反射炉ガイダンスセンターにおいて市内小学校による「韮山反射炉学習」の成果展示を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>平成30年度実施時期</th> <th>令和元年度実施時期</th> <th>令和2年度実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>韮山小学校</td> <td></td> <td>12/4～12/23</td> <td rowspan="5">新型コロナにより中止</td> </tr> <tr> <td>韮山南小学校</td> <td>6/30～7/16</td> <td>7/5～1/22</td> </tr> <tr> <td>長岡北小学校</td> <td>11/29～12/12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長岡南小学校</td> <td>11/13～11/28</td> <td>11/15～12/2</td> </tr> <tr> <td>大仁小学校</td> <td>12/13～12/26</td> <td>8/7～8/22</td> </tr> <tr> <td>大仁北小学校</td> <td>12/27～1/9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	実施内容	参加人数	市民参加割合	平成29年	「韮山城をめぐる攻防-韮山城を守る攻めるから考える-」	460	38.46%	平成30年	「武田信玄襲来!!-三国同盟崩壊と韮山城をめぐる攻防-」	439	37.36%	令和元年	宗瑞打ち入り茶々丸たいへん	350	40.50%	令和2年	韮山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会	140	59.29%	学校名	平成30年度実施時期	令和元年度実施時期	令和2年度実施時期	韮山小学校		12/4～12/23	新型コロナにより中止	韮山南小学校	6/30～7/16	7/5～1/22	長岡北小学校	11/29～12/12		長岡南小学校	11/13～11/28	11/15～12/2	大仁小学校	12/13～12/26	8/7～8/22	大仁北小学校	12/27～1/9		
年度	実施内容	参加人数	市民参加割合																																											
平成29年	「韮山城をめぐる攻防-韮山城を守る攻めるから考える-」	460	38.46%																																											
平成30年	「武田信玄襲来!!-三国同盟崩壊と韮山城をめぐる攻防-」	439	37.36%																																											
令和元年	宗瑞打ち入り茶々丸たいへん	350	40.50%																																											
令和2年	韮山反射炉世界遺産登録5周年記念講演会	140	59.29%																																											
学校名	平成30年度実施時期	令和元年度実施時期	令和2年度実施時期																																											
韮山小学校		12/4～12/23	新型コロナにより中止																																											
韮山南小学校	6/30～7/16	7/5～1/22																																												
長岡北小学校	11/29～12/12																																													
長岡南小学校	11/13～11/28	11/15～12/2																																												
大仁小学校	12/13～12/26	8/7～8/22																																												
大仁北小学校	12/27～1/9																																													

評価軸⑥-2

その他(効果等)

評価対象年度 令和2年度

項目

文化財の保存及び活用に向けた普及・啓発の必要性

計画に記載している内容

重点区域内に分布する文化財の普及・啓発に係る取組みを推進することは、歴史的風致を維持及び向上させる上でも重要である。普及・啓発の方法としては、訪れる人々の周遊を促すためのパンフレット・マップを配布するとともに、普及・啓発のためのイベントを実施するなどして、より身近に文化財を感じてもらう機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本市の歴史的風致を多くの方々に知っていただくため、韮山反射炉をはじめ市内の歴史資源の情報をQRコードを通じて入手できる歴史まちづくりカードを希望者に配布している。観光協会が運営する伊豆長岡駅前観光案内所は、鉄道利用者をはじめ、車で移動する観光客も立ち寄る情報発信の拠点であり、本市の歴史文化情報の発信は、交流人口の拡大に向けて観光施設と歴史文化施設の回遊性を高めるために必要な周知方法と捉えている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

国土交通省中部地方整備局管内の認定都市が連携して、歴史まちづくりカードを活用したカードラリーを実施した。今後も歴史資源の情報発信ツールの一つとして更なる活用の方法を検討する。

状況を示す写真や資料等

伊豆長岡駅前案内所 来場者数の推移と歴史まちづくりカードの配布状況

年 月	人数	歴まちカード配布数(枚)	年 月	人数	歴まちカード配布数(枚)	来場者増減比
H314月	1,681人	114	R2 4月	254人	8	-1,427人
R1 5月	2,147人	119	5月	121人	3	-2,026人
6月	1,124人	128	6月	481人	26	-643人
7月	1,099人	79	7月	598人	111	-501人
8月	1,429人	145	8月	1,050人	239	-379人
9月	1,380人	34	9月	950人	210	-430人
10月	1,147人	12	10月	1,211人	236	64人
11月	1,659人	19	11月	1,392人	217	-267人
12月	2,693人	248	12月	850人	159	-1,843人
R2 1月	2,247人	133	R3 1月	523人	101	-1,724人
2月	1,971人	78	2月	631人	141	-1,340人
3月	1,331人	51	3月	656人	140	-675人
合計	19,908人	1,160	合計	8,717人	1,591	-11,191人

評価: 令和2年度は、コロナ感染症の拡大による行動制限の影響もあり観光案内所の利用者数は、前年対比で半減している。利用者数と歴まちカード配布枚数ともに前年を上回ったのは10月だけとなったが、カードの配布数は前年度を上回った。歴史まちづくりカードを配布して2年が経過したが、案内所関係者からは歴まちカード求める声も多いとの報告を受けている。観光案内所を訪れた観光客等への配布数は前年よりも増えており、本市の歴史文化に関する情報発信の手法として着実に認知されている。

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:伊豆の国市歴史的風致維持向上協議会 会議等の開催日時:令和3年3月18日(木) 14:00~15:15 於:あやめ会館2階会議室 (コメントの概要) 【①組織体制】 特になし 【②重点区域における良好な景観を形成する施策】 特になし 【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】 ・評価軸③-6 (重文) 葦山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理事業に関し、事業期間が令和5年度までになっているが、すべての資料や工芸品等の保存・修理が完了するのか。 ・評価軸③-8史跡北条氏邸跡(円成寺跡)保存整備事業と評価軸③-9史跡公園整備事業「守山中世史群」PFI事業に関し、本計画には、北条の里と旧下田街道にみる歴史的風致が位置づけられているが、地域住民自体が北条氏の歴史的史実を知らなかったり、施設名として採用されている北条という名称も年々減少しており、その知名度も薄れてきている。 整備された公園名に北条を採用するなどして、歴史資源豊富なこの地域に知名度が高まるような取組をお願いしたい。 ・評価軸③-10葦山城跡総合調査事業に関し、この他に市内には関連する付城跡があるが、そちらの発掘調査も行うことは考えていないのか。 ・評価軸③-12重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業に関し、他の歴史都市に行く機会があるが、景観を考えた電柱の地中化を行っているところが多い。江川邸裏門は、富士山を眺めることができるので、是非、事業を推進してもらいたい。また、江川邸北側に限らず、土手和田地区の富士見ロードについても東京電力と協議して電柱の撤去・移設を検討したかどうか。 ・評価軸③-15公共サイン整備事業に関連して、重点区域内に温泉交流館の看板がある。周辺の景観を考えるとiraないのではないかとと思う。 【④文化財の保存又は活用に関する事項】 特になし 【⑤効果・影響等に関する報道】 特になし 【⑥その他(効果等)】 特になし 【全般に関すること】 ・様式1-3の支援事業名欄に静岡県が関係する支援事業名が追記できれば、追記してほしい。 (今後の対応方針) ・(重文) 葦山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理事業期間について、今後の進捗状況によっては事業期間の変更を行って対応する。 ・2022年の放映が決定している大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機に、本市にゆかりのある北条氏の知名度が高まるような取組を行う。 ・現時点では、葦山城跡付城以外の発掘調査の予定はないが、今後検討する。 ・重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業を着実に進め、重点区域以外に必要な箇所がある場合は、東京電力と協議して検討する。 ・指摘を受けた看板を管理する部署に確認し、設置の必要性等を検討する。 ・静岡県が関係する支援を受けている事業については、シートにその支援事業名を追記する。	